



～お葬儀屋さんのひとりごと～

お布施って何？葬儀や法事法要で気になるお布施のこと

お布施とは何か説明できますか？

どうしてお布施を渡すのでしょうか？

葬儀や法事法要の時に悩みがちなお布施。お布施の意味とはそもそも何なのか。今一度お布施の意味、お布施の役割について確認していきましょう。

○ お布施は修行「六波羅蜜」の1つ

「布施」とは、仏教の「六波羅蜜（ろくはらみつ）」という修行法のうちの一つです。

六波羅蜜とは、6つの徳目の総称です。徳目とされる6項目を実践することで、煩惱が消えて悟りの世界に到達できるとお釈迦様は教えています。

布施(ふせ)・・・人に施しを与えること

持戒(じかい)・・・戒律を守り、省みること

精進(しょうじん)・・・つねに努力すること

忍辱(にんにく)・・・苦しくても耐えること

禅定(ぜんじょう)・・・心を落ち着かせ、安定させた状態で自己反省すること

智慧(ちえ)・・・正しく判断力をもち、ものごとの真実を見る目をもつこと

六波羅蜜は、お坊さんだけの修行法ではありません。全ての人々にとって、この6つの徳目は大切な教訓だといわれています。

○ お布施の本来の意味、お布施とは何？

六波羅蜜の一つであるお布施には、三種類の意味があるといえます。

財施(ざいせ)・・・財施とは、金銭、衣服、食料などを施すこと。「もったいないと思う心・むさぼる心・おいしいと思う心・恩にきせるような心」は起こさないように。

法施(ほうせ)・・・法施とは、物質やお金ではなく、お釈迦様の教えを説いたり、他人のために読経をすることなど。

無畏施(むいせ)・・・無畏施とは、畏怖(いふ)を取り除くという意味で「無畏施」。色々な恐怖や不安などを取り除き、安穏な心を与えること。

葬儀や法要の際に人々が僧侶に渡しているお布施は、「財施」「法施」「無畏施」と呼ばれるお布施の中でも「財施(ざいせ)」にあたります。

○ お寺が人々に施す「法施」というお布施とは

僧侶は読経や故人の供養を祈っているのだから、法施を人々に与えていることになります。これもお布施の一つです。

法施の役割には大きく3つに分けることができます。

① 仏や宗祖の教えを人々に伝える

② ご先祖様が安穏であるように読経・唱題を行い、祈る

③ 生きている人々の平穏無事を祈り、読経・唱題する

仏教の教えを人々に伝え、広めたり、全ての人々が平穏で豊かな生活を送れるように祈ることがお寺の役目といわれています。

